

# SPSS を利用した統計処理

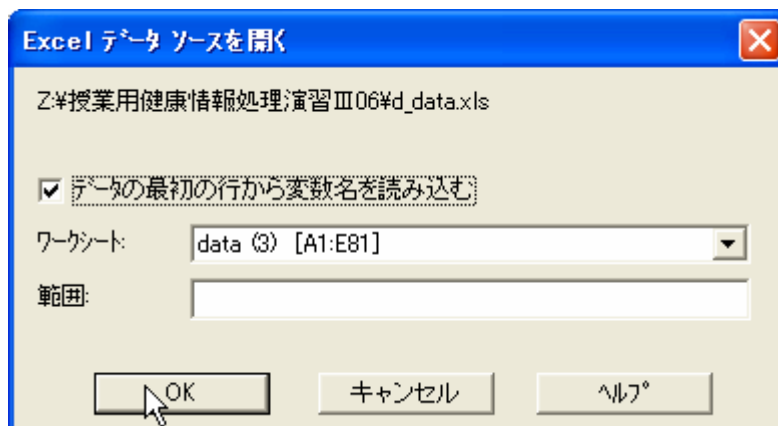
「データを EXCEL から読み込む」

## 1.d\_学生番号のファイルを開く。

- ・元データのシートをコピーする
- ・列・行にデータ以外のものが入らないように削除する
- ・シート名を変更 (SPSS)
- ・保存する

## 2.SPSS を起動する

- ・SPSS が開く⇒キャンセル
- ・ファイル⇒開く⇒データ
- ・データの種別を Excel に変更・ファイルの保存場所変更
- ・ファイルを開く



- ・データビューにデータが入る
- ・変数ビューの測定で住居を名義に、間食を順序に変更する

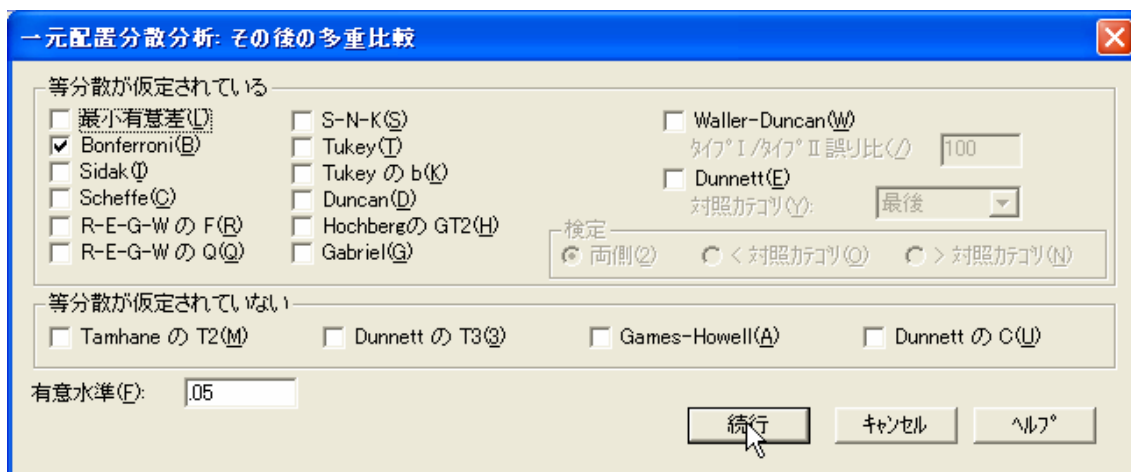
「相関係数の検定」

- ・分析⇒相関⇒2 変量
- ・食事摂取基準と摂取量を変数に入れる⇒OK



「平均値の差の検定」

- 分析⇒平均値の比較⇒独立したサンプルの T 検定
- 分析⇒平均値の比較⇒対応のあるサンプルの T 検定
- 分析⇒平均値の比較⇒一元配置分散分析（多重比較）



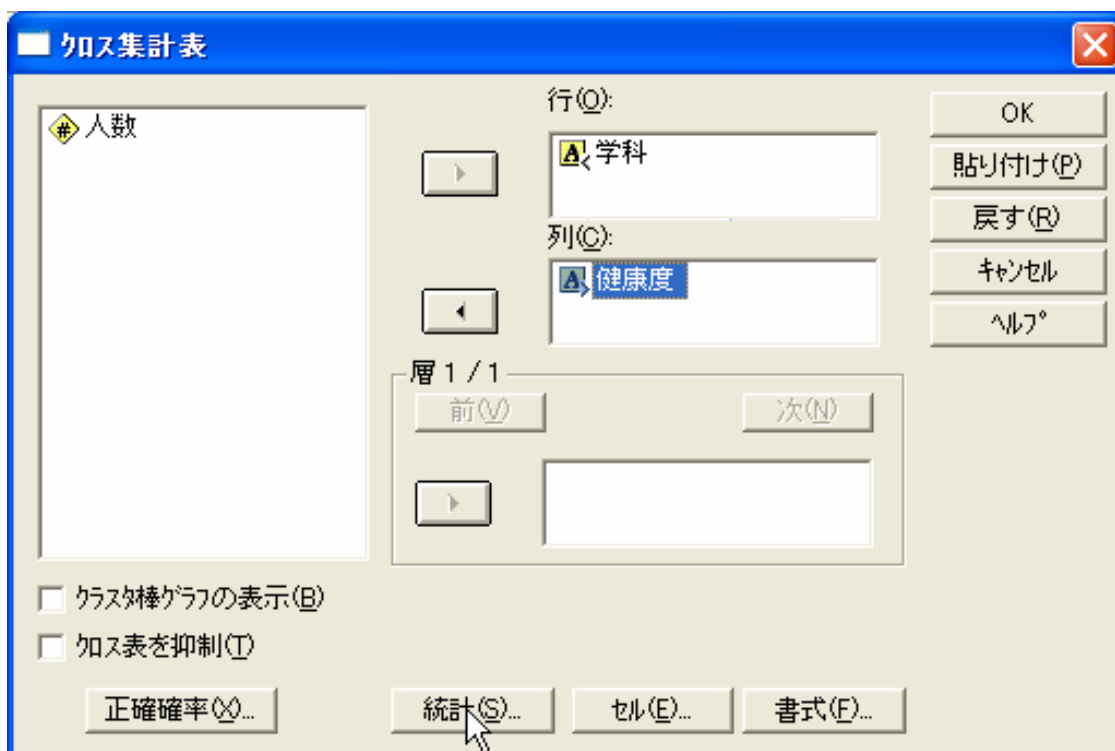
「 $\chi^2$ 検定」

データ入力（SPSS に直接入力または EXCEL に入力して読み込む）

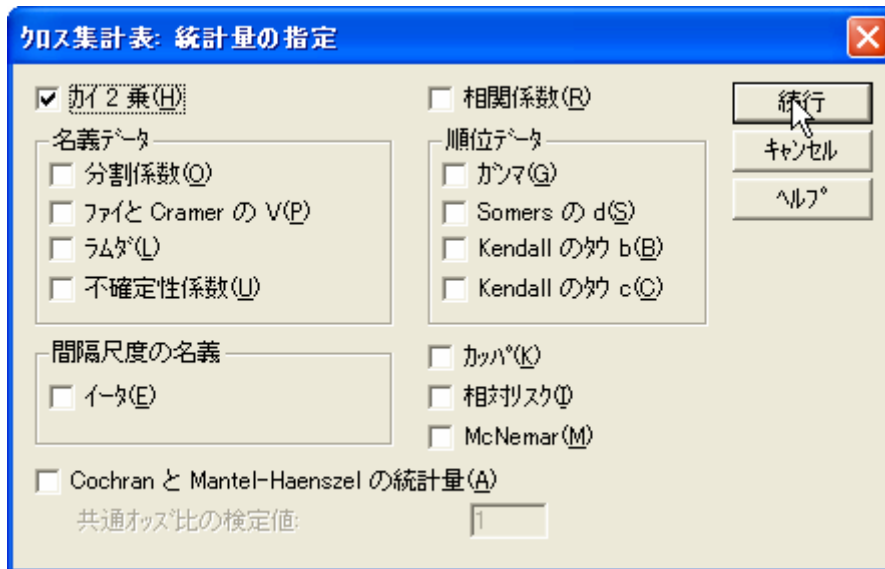
学科	健康度	人数
家政系	かなり健康	20
家政系	健康	10

家政系	要注意	10
芸術系	かなり健康	10
芸術系	健康	20
芸術系	要注意	30

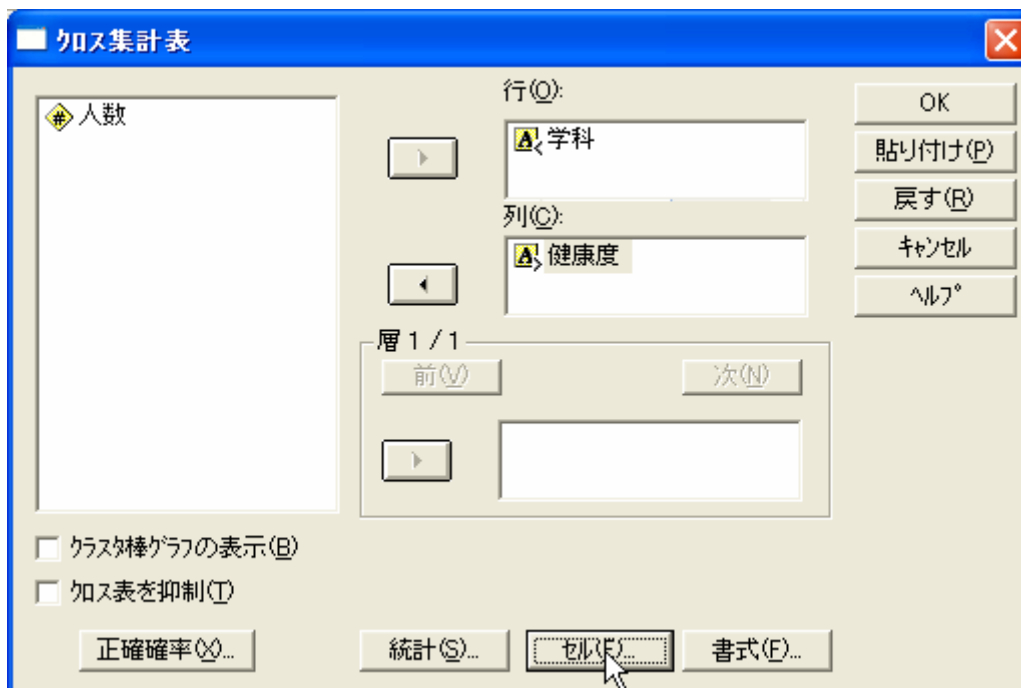
- データケースの重み付けをする（画面右下に重み付けオンとなる）
- 分析⇒記述統計⇒クロス集計表
- 学科を行に、健康度を列に入れる⇒統計



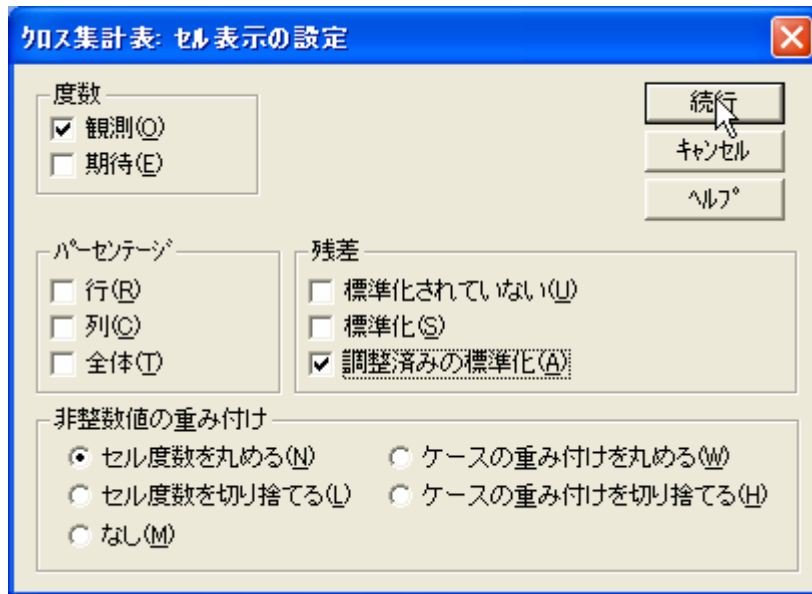
- カイ 2 乗にチェックを入れる⇒続行



・セルをクリック



・調整済みの標準化にチェックを入れ⇒続行



- ・ OK とする

「最後に」

ページ設定で名前を書く。

印刷は用紙を横にする。

※ 「SPSS の表からの検定の考え方」

帰無仮説：

対立仮説：

有意確率が ( ) で、有意水準 ( ) より (大きい or 小さい) ので、  
帰無仮説を (採択 or 棄却) する。

注意：帰無仮説は基本的に「差or関係 がない」と覚えておこう!!!